投稿区分：

日本放射線技術学会雑誌論文書式テンプレートについて

Article Formatting Template for Japanese Journal of Radiological Technology

注1）査読はダブルブラインドで行います．著者名や勤務先名称は本文に書き込まないでください．本文中で勤務先名称がわかるような表現は避けてください．（例：△△病院→当院）

注2）行番号の入れ方：メニューバーから「ファイル」→「ページ設定」→「その他」→「行番号」→「行番号を追加する」にチェックしてください．

Abstract

原著論文の場合は、Purpose，Method，Result，Conclusionで構造化してください．

Key words

抄録

原著論文の場合は、【目的】，【方法】，【結果】，【結語】で構造化してください．

**緒　言**

　ここでは，研究の背景と今までの研究との関連，目的などを明快に述べること．

（1）テーマの背景と研究の意図，（2）関連した論文との相違，（3）それと本研究との関連など，論文を理解してもらううえでの概要を記述すること．

**1．方　法**

**1-1　方法の1番目**

　ここでは，研究に用いた機器・材料や実験方法について，読者が追試できるように具体的に記載すること．すでに広く用いられている材料，方法，あるいはそれが他の文献に詳しく記述されている場合には，「・・・の方法」とし，具体的な用具・材料の名称を記すだけでもよく，文献を示しておくこと．

**1-2　方法の2番目**

　機材などの会社名は，正式名称を用いる（株式会社○○製・・・）

**1-3　方法の3番目**

　倫理や個人情報の保護について本学会の倫理規程に従うこと．また，視覚評価にあたっては，観察者の同意を得ること

**2．結　果**

**2-1　結果の1**

　ここでは，結論を導き出すためのデータを，自分の主観を入れずに書くこと（Fig. 1）．

**2-2　結果の2**

　実験結果の羅列ではなく，図表を用いて分かりやすくまとめること．そこから読み取れる事実を簡潔に記述すること（Table 1）．

**3．考　察**

　ここでは，（1）研究で得た結果から，新しい知見の整理と解明，すなわち結果の分析を行うこと．また，（2）これまでに知られている結果との関係付け，あるいは他の研究との相違点に比較検討を加えること．（3）これからから導き出した法則性や論理的な推論を加えること．

**4．結　語**

　ここでは，結果に考察を加えた結論を手短に記述すること．したがって，研究から得られた具体的な真理の記述が中心となる．得られた結果以上のことは書かないこと．

**謝　辞**

＜ここに謝辞が入る＞

　謝意や学会での発表については，投稿システム上のフォームに入力し，論文ファイル上には記載はしないこと．謝辞を入れる場合には，「ここに謝辞が入る」と記しておくこと．

**利益相反**

＜利益相反有りの記載例＞

著者Aは，株式会社XXから研究資金の援助を受けた．著者Bは，XX株式会社の社員である．著者Cは，XX株式会社から講演料などの謝金を受けている．著者Dは，株式会社XXの特許を有している．それ以外の著者に開示すべき利益相反はない．

＜利益相反無しの記載例＞

筆頭著者および共著者全員に開示すべき利益相反はない．**参考文献**

1）○○，○○，○○，他．△△△論文タイトル△△△．日放技学誌　2011; 67(10): \*\*\*-\*\*\*．

2）Aaaa BC, Bbbb CD, Cccc EF, et al. \*\*\*\*Article Title\*\*\*\*. J Nucl Med 2004; 45(9): \*\*\*-\*\*\*.

**図表の説明**

Fig. 1 論文フォーマット例

Table 1 投稿論文の推移

Fig. 1 Example of article format.

Table 1 Transition of the numbers of submission